

発達心理学とジェンダーステレオタイプ

日本でもジェンダーステレオタイプという言葉が聞かれる機会が増えてきました。例えば科学者の絵を描いてくださいとお願いすると、皆さんはどのような絵を描きますか？これは発達心理学で使われる子ども向けの「科学者を描く課題(The Draw a Scientist Task)」で、年齢の上昇とともに男性の科学者を描くことが多くなることが知られています(Chambers, 1983; Miller et al., 2018)。このように、この職業は男性のもの、○○は女性という性別による固定概念をジェンダーステレオタイプと呼びます。Miller et al. (2018)の分析では、女性の科学者を書く子どもの割合は過去50年の間に増えてきていますが、依然として年長の子どもは男性の絵を描くことが多いことが明らかになっています。この背景の1つとして、科学者という職業における性別の偏りがあり、こうした社会を見た子どもたちが、科学者は男性に向いているという信念を形成してしまうことが指摘されています(Miller et al., 2018)。実際に世界の国々においてSTEM(科学、技術、工学、数学)分野に従事する女性の数は男性よりも少ないのです。ジェンダーステレオタイプは職業以外にも性格特性などにも形成されるようですが、数学や科学に対するジェンダーステレオタイプは、子どもたちの将来に影響しうる問題として注目されてきました。

2017年にBian et al. (2017)は、数学や科学といった単独の能力だけでなく、賢さ(brilliance)が男性と結びついているかについて検討し、アメリカでは6歳ごろから賢いのは男性であるというジェンダーステレオタイプが見られることを報告しました。われわれの研究グループは、日本ではSTEM分野における女性の数が少なく、世界経済フォーラムによるジェンダー・ギャップ指数も低いので(2022年は146か国中116位)、日本の子どもたちはアメリカの子どもよりも早期にジェンダーステレオタイプを示すのではないかと考えました。そこで日本の4~7歳の子どもを対象にBian et al. (2017)の課題を実施しました(Okanda et al., 2022)。「この会社ではたくさんの方が働いています。その中に、特別な人が一人います。この人は本当に本当に賢いんです」といったストーリーを



追手門学院大学 心理学部 准教授
おおかんだ まこ
大神田 麻子さん Profile
京都大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門は発達心理学。幼児~成人のロボット認識を調べる過程で、幼児期にロボットは男の子という認識が生じることが分かり、ジェンダーステレオタイプの発達に興味を持つようになった。

聞かせた後に、男性と女性(男児と女児)の写真、あるいはトイレのマークなどによく見られる棒人間の絵を見せて、どちらの性別が「この人」に当てはまるか聞きました。この他に優しさについてのストーリーも使いました。写真を使った実験ではBian et al. (2017)と同様の結果は得られず、女兒は賢さと優しさを同性に結びつける傾向を示しました。一方で、外見などの情報(髪型や色など)が少なく、性別の概念がより明確な棒人間を使った実験では、7歳ごろから賢いのは男性というジェンダーステレオタイプが生じることが確認され、さらに4歳ごろにはすでに優しいのは女性というジェンダーステレオタイプを持っていることも分かりました。アメリカよりもジェンダーギャップが大きい日本で、賢さのジェンダーステレオタイプが生じる時期が遅いのは少し不思議ですが、幼児教育の違いなどの影響かもしれません。いずれにしても学童期に入るぐらいから、賢さのジェンダーステレオタイプが生じてしまうといえそうです。

今回の研究では、親の性役割に対する信念と子どものジェンダーステレオタイプの関連についても調べましたが、こちらには関連は見られませんでした。今後は、親子に同じ課題を実施して、その傾向に関連があるか、いつ頃から関連が見られるかを調べてみると面白いと思っています。

男の子は数学、女の子は国語が得意というジェンダーステレオタイプには根拠はありませんが、すでにそれを保持している大人の何気ない一言が、子どものジェンダーステレオタイプを形成させてしまっているかもしれません。また、ある職業における男女の比率も、同様に子どもに影響するでしょう。ジェンダーステレオタイプを軽減するためには社会全体での取り組みが必要で、結果が出るまでに時間がかかりますが、普段の何気ない言葉に少し注意を払うことは、今すぐできることかもしれません。



講座報告

映画『17歳の瞳に映る世界』から考える ~子どものリアルに寄り添う性教育って?~

令和5年2月18日(土) ムーブ 5階 大セミナールーム
[講師] 北九州市障害者基幹相談支援センター 相談支援担当課長・小児慢性特定疾病支援室長 **まつもと あさこ 松本 麻子さん**



「正しく知り、正しく守ろう ~学校では教えてくれない性教育の話~」

女性の心と身体の健康の維持は男女共同参画の推進にあたって取り組むべきテーマの一つです。今回は、性に関する権利やジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む「包括的性教育」の重要性について考える講座を実施しました。

はじめに若年層の予期せぬ妊娠を描いた映画『17歳の瞳に映る世界』(2020年/アメリカ、イギリス)を上映。その後、講師の松本さんから、実際に支援したケースを例に、予期せぬ妊娠を取り巻く環境や社会からの差別による孤立についてお話をいただき、包括的性教育の普及に取り組むことがいかに重要であるかを考えました。最後にグループトークの時間を設け、参加者同士の意見交換の場となりました。参加者は映画の感想をはじめ、性教育に関して抱えている悩みや学校での性教育に望むことなど、講師を交えて熱心に語り合いました。

男性のためのアンガーマネジメント

「イライラ・モヤモヤとのつきあい方と伝え方」

令和5年2月25日(土) ムーブ 5階 大セミナールーム

私たちにとって怒りは自然な感情のひとつで、身を守るために必要なものです。アンガーマネジメントとは、あの時怒らなければよかったと、怒りによって後悔しないよう、日々トレーニングしておくことです。怒りをグラフ化し、許せる怒りか許せない怒りに分けて対応を変えたり、「~しないで」を「~してほしい」とリクエストする言い方に変えてみるワークも行いました。ディスカッションの時間には、隣や前後の席で意見を交わし合い、自分の怒りの沸点やクセの理解を深めました。「自分の気持ちを整理できた」「日常生活に生かしたい」などの感想をいただきました。



[講師] 公認心理師
キャリアコンサルタント
しんかい
新開 よしこさん

(公財) アジア女性交流・研究フォーラム (KFAW) からのお知らせ

『Asian Breeze』がウェブでお気軽にご覧いただけるようになりました!

アジアの今を伝える情報誌『Asian Breeze』は、2022年8月からリニューアルし、ウェブニュースレターになりました。お手持ちのパソコンやスマートフォンから、いつでもご覧いただくことが可能です。バックナンバーはこちらのQRコードから。ぜひご一読ください。



『アジア女性研究』第32号(2023年3月)が発行されました!



KFAWで毎年発行している研究誌です。本号はKFAW客員研究員執筆による「COVID-19による障害女性の日常生活への影響-バングラデシュを事例として」の論文ほか2編が収録されています。ホームページでもウェブ版を掲載しておりますので、こちらのQRコードからご覧ください。



【お問い合わせ】(公財) アジア女性交流・研究フォーラム 企画広報課
TEL:093-583-3434 E-mail:info@kfaw.or.jp

KFAW

検索

誌上講座 [第1回]

テーマ ケアする男性たち

内なる「アンコンシャス・バイアス」との葛藤

私は小学一年生の娘の父親であり、福祉社会学を専門とする研究者でもある。ケアやジェンダーについて一応の知識はある、はずだった。でも、6年前に娘を授かって以後、「わかったつもり」になっていたことが、いかに自分事になっていないのか、を痛感させられた。その一つが、「アンコンシャス・バイアス」である。ムーブの『産休・育休取得者だけの問題じゃない! パパの子育て応援NAVI』※によれば、「無意識の偏見」のことを指し、「そのような発言や態度が繰り返されることで、性別によって役割が固定される」という「固定的性別役割分担」が生まれてくるという。これは、6年間の私の葛藤そのものでもある。

この「無意識の偏見」の例として、「男性だったら、残業や休日出勤もしないと」「育児や家事は女性の方が向いているよ」というフレーズがある。以前の私は、国内外の長距離出張がしばしばで、研修や講演なども断ることなく引き受け続けてきた。仕事で評価されることこそ誇りだと思い、そこに最大限のエネルギーを注いできた。であるがゆえに、子どもが産まれて仕事を減らすことは決めていたけど、妻に「出張はできる限りやめてほしい」と言われた時、これまでのパターンだけでなく、自分が培ってきた生きざまも否定されているようで、苦しかった。「戦線離脱」のような恐怖感や喪失感、焦燥感を味わった。

そうはいつても、仕事をできる限り減らして、せつせと食事を作り、子どもをお風呂に入れ、絵本を読んで、子どもと共に過ごす時間をできる限り確保してきた。それにも関わらず、娘はことあるごとに「お母ちゃん、お母ちゃん」と言い、「お父ちゃんじゃなく、お母ちゃんがいい」と泣かれると、無性に腹が立った。ここまでやっても娘に評価されないのかと愕然とし、家事は対等にできても、育児はやっぱり「母性」なるものに勝てないのか、と落ち込むこともあった。

だが、この葛藤は「無意識の偏見」であり、「固定的性別役割分担」の認識に基づくものだとして理解できると、視点が変わる。私自身の父親も出張が当たり前で、母親は専業主婦をしていたので、家事育児を自分が始めた時に、思い



兵庫県立大学 環境人間学部 准教授

たけばた ひろし 竹端 寛さん

Profile

1975年、京都市生まれ。42才で父になり、ケアや子育てを通じて生き方を問い直すプロセスを、「家族は他人、じゃあどうする? 子育ては親の育ち直し」(現代書館)というエッセイにまとめる。合気道三段。

出す風景は「母親が〇〇してくれた」・・・といった母の記憶ばかりである。これが「固定的性別役割分担」として、私の記憶の中に、深く内在化されていた。だからこそ、子どもが産まれた後、出張をできる限りやめてほしい、と言われた際、無意識・無自覚に強く反発したのだ。口では「子育ては対等にするもの」と言っていたが、心のどこかで「出張しないなら仕事にならない」と思い込んでいたのだ。

そして、子どもがぐずったり、母親を求める場面に遭遇した時、「こんなに頑張っているのに評価されないなんて」と腹を立て、「やっぱりお母ちゃんにかなわないのかな」と妻にぼやいたとき、彼女に返された一言にドキッとした。「それは物理的に接する時間が私の方が長いからであって、私がいなくなったら、お父ちゃんに懐くはず」。確かに、妻の仕事はパートタイムで私はフルタイムなので、物理的に妻の方が子どもに接する時間が長い。でも、妻が仕事や会食などで家にいない時は、娘は「お父ちゃん、お父ちゃん」とずっとくっついてくる。子どもにとって、なじみのある人に頼るのは当然のことなのだ。

こうやって、自分自身の「無意識の偏見」に真正面から向き合うことは、しんどいことであり、面倒なことでもある。直視したくない己の「陰」の部分でもある。だからこそ、多くの男性はこれまでその「陰」と直面せず、妻に押し付けることで、逃げてきた。だが、ひとたびその「陰」と向き合うことに決め、自分の中での葛藤を抑圧せず、妻や娘と相談しながら、試行錯誤しながら乗り越えていくと、これまで経験してこなかった面白さに気づく。それは、仕事人間では気づくことのなかったケアの面白さである。それは一体どんな面白さなのだろうか?

※11ページの冊子案内をご覧ください。

第6回 北九州地域のさまざまな分野でご活躍中の皆さまをエッセイでご紹介します。

リレーエッセイ ムーブと私

その一歩を

「差別の一番悲しいことは期待されないことです。」と語る、女性労働に詳しい女性弁護士の言葉が胸に残る、そんな時代がありました。

そのような状況の中でも、諦めず、「女性問題の解決、女性の社会参加」を旗印に、地道な活動を続けてきた女性の皆さまたちが、私たちの前にいました。北九州市の誇りです。そして、感謝と敬意の気持ちを抱きます。その願いの実現が「アジア女性交流・研究フォーラム」の設立、次いで「ムーブ」の開所でした。

開所にあたって、高橋久子初代理事長(元最高裁判所判事)が、自ら揮毫し、寄贈いただいた書が、与謝野晶子さんの「山の動く日来る」。ムーブホール入口脇に掲げられています。期せずしてキーワードは「動く」。

そのムーブに一時期、勤務しました。そして皆さまのひたむきな姿勢から、当時使われていた「女性活用」という言葉に違



元北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 副所長 寺田 和子さん

Profile

1970年北九州市役所入職。図書館、文化、国際交流の他に、アジア女性交流・研究フォーラム、ムーブなど男女共同参画部門に通算14年余勤務。2008年定年退職。現在、「久女・多佳子の会(杉田久女の顕彰活動等)」会員。

和感を覚えるようになりました。やがて女性の実績がうねりとなって、「女性活躍」という言葉に置き換えられました。このようにムーブに集う皆さまには、脈々と引き継がれてきた時代を先取りするエネルギーがありました。

さらに「女性問題」が見失わなかった社会的弱者の視点と包容力が「男性問題」にも光を当てるようになり、今、ムーブの催しには目が離せません。新しい視点がザクザク、ワクワク、まさに生きる宝箱です。

私自身、それ以前、フォーラムの立ち上げの事務に従事しました。手探り状態の草創期フォーラムの会議では、私が上手く進行できなかった場面でも、「楽しかった」という周囲の声に、助けられました。しだいに「仕事は個性」と思うようになりました。

これからも、「一人一人が皆、期待される社会」が、皆さまの一歩からさらに強固になっていくことを願っています。そして、ジェンダー平等の姿を捉えられることを楽しみにしています。

刊行物発行のお知らせ

『産休・育休取得者だけの問題じゃない! パパの子育て応援NAVI』

子育て世代向け冊子『産休・育休取得者だけの問題じゃない! パパの子育て応援NAVI』を発行しました。本冊子では、育児・介護休業法の改正ポイントや育休に関するQ&Aなどを掲載。市内企業で働く男性の体験談も載せています。誰もが自分らしく働ける社会を一緒に目指しませんか?



発行 令和5年3月

ムーブホームページからご覧いただけます。

【お問い合わせ】 情報課 TEL:093-583-5082

『令和3/4年度 ジェンダー問題 調査・研究支援事業 報告書』

ムーブでは、ジェンダー問題の解決に取り組む市民グループや研究者に対して、研究費の一部を助成する「ジェンダー問題 調査・研究支援事業」を行っています。

令和3/4年度は、以下のテーマの報告書を発行しました。

テーマ 女性管理職のキャリア形成 — 一皮むけた経験を探る —



熊本学園大学 商学部 准教授 徳永 彩子さん
岐阜協立大学 経営学部 教授 所 吉彦さん

ムーブで無料配布しています。ご希望の方はお問い合わせください。 ※ムーブフェスタで報告会を行います。6ページをご覧ください。

【お問い合わせ】 情報課 TEL:093-583-5082

令和5年度 ムーブ実施事業 年間スケジュール

項目	令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年	1月	2月	3月
男女共同参画事業	男女共同参画啓発講座			●男女共同参画啓発講座(講演会)【5/20】						●男女共同参画啓発講座(映画祭)【12/2】		●出前講座(八幡東生涯学習センター尾倉分館)	●出前講座(門司生涯学習センター大里分館)	
	おとこのライフセミナー			●CSW67報告会【5/30】					●おとこのライフセミナー【10/21】				●研究報告会	
	高校生向け男女共同参画意識の啓発					●高校生向け男女共同参画講座								
	語学講座(英会話)		英会話【1期】(昼)初級(夜)中級【4/12~7/5(全12回・水曜日)】				英会話【2期】(昼)中級(夜)初級【9/6~11/22(全12回・水曜日)】			英会話【3期】(昼)初級(夜)中級【12/27~3/27(全12回・水曜日)】				
	エプロン男子		初級編【1期】【4/22~6/24(全4回・土曜日)】			中級編【1期】【7/29~9/16(全4回・土曜日)】			初級編【2期】【10/28~12/9(全4回・土曜日)】		中級編【2期】【1/6~2/24(全4回・土曜日)】			
	父と子の食育					●父と子料理(第1回)【8/26】			●父と子料理(第2回)【12/16】		●父と子料理(第3回)【3/2】			
生活技術講座	介護男子							介護男子【全3回】					●介護男子フォローアップ講座	
	おとこの魅力アップシリーズ			おとこの魅力アップシリーズ 年間7回(うち2回は出前講座)	●おそうじ男子【6/17】			●原則土曜日 育児男子【9/30】		●出前講座【12/3】(八幡東生涯学習センター尾倉分館)		●出前講座(門司生涯学習センター大里分館)		
	創作工房					●親子木工教室【8/5、6(午前)】(午後)								
	働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成			●ムーブカフェ【6/10】					●ムーブカフェ 働く女性向け次世代リーダー育成セミナー(共催)				●働く女性のためのフォローアップセミナー	
女性のエンパワーメント事業	働く女性に贈る! お役立ちワンポイントセミナー		働く女性に贈る!お役立ちワンポイントセミナー 年間6回(原則土曜日または平日夜開催) キャリアアップ&ビューティー講座【4/8、22(全2回・土曜日)】	ストレスケアの処方箋【5/12、19、26(全3回・金曜日、夜)】										
	大学生のためのキャリア形成プログラム		大学生のためのキャリア形成プログラム											
	様々な分野での女性の参画推進講座							●様々な分野での女性の参画推進講座【10/7】						
	再就職支援			介護事務講座【6/1~7/25(全13回・火、木曜日)】(就職サポートセミナー含む)			医療事務講座【8/29~12/7(全22回・火、木曜日)】							
	パソコン講座	6期実施(2ヵ月ごと) 4/1~												
生涯を通じた女性の健康支援事業	健康講座		シェイプアップ・ヨガ【5/13~6/24(全6回・土曜日)】									リラックス・ヨガ【1/13~2/17(全6回・土曜日)】		
	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座		ニュースポーツ健康教室【前期】【4/6~6/22(全6回・木曜日)】	ニュースポーツ健康教室【中期】【8/3~10/19(全6回・木曜日)】	ニュースポーツ健康教室【後期】【12/7~2/15(全6回・木曜日)】									
	いまだきママのリフレッシュ講座		いまだきママ【1期】【5/9、5/23、6/6、6/20(全4回・火曜日)】					いまだきママ【2期】【10/17、10/31、11/7、11/21(全4回・火曜日)】						
	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座												リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座	
市民活動支援・連携事業	ムーブサポーター			サポーター活動	●サポーター総会【6/8】									
	市民活動支援・連携			大学との連携事業										
相談事業	一般・人権侵害・元気アップ(就労)・男性・法律相談・ホットライン		一般(電話、面談、メール)・人権侵害・元気アップ(月3回)・男性(月4回)・女性のための法律相談(月4回)		●女性の権利ホットライン【6/28】								●女性の権利ホットライン(女性への暴力ゼロ運動)	
	講座等			●女性の権利ホットライン【6/28】	●女性のための法律基礎講座【6/24】	●男性のための無料法律相談会①【5/27】							●女性への暴力ゼロ特別講座	●男性のための無料法律相談会②【10/28】
ムーブフェスタ 7/1~7/22														
図書・情報室	事業・講座				●おはなし会								●おはなし会	
	刊行物				ジェンダー問題調査・研究支援事業募集									
個人利用 ■フィットネス ■OALーム					●6/10「ムービング」100号								2/29「ムービング」102号	●啓発冊子
パネル展示			『未来をひらくあなたに』	『大切にしよう、自分のこと。』(デートDV)									●国際女性デー展示	

Pick-Up おすすめ講座

初級から一歩前進! エプロン男子 中級編

楽しく料理をしながら、あなたのレパートリーを増やしましょう。

日時 7月29日(土)、8月19日(土)、9月2日(土)、9月16日(土) [全4回]
 〈午前の部〉10:00~13:00
 〈午後の部〉14:00~17:00

定員 各8名(抽選)

参加費 6,000円
 (4回分の材料費、エプロン代、保険代込)

就職・転職に役に立つ! 医療事務講座

医科2級医療事務技能検定の資格取得を目指します。

日時 8月29日(火)~12月7日(木) [週2回・全22回]

定員 24名(応募者多数の場合は選考)

対象 資格の取得を希望する女性
 ※学生以外を優先

受講料 29,400円(テキスト代込)

パパと料理にチャレンジ! 父と子の料理教室

お父さんと子どもで食の大切さと料理作りの楽しさを学びます。

日時 8月26日(土) 10:00~13:30

定員 4組(抽選)

対象 4歳から小学4年生までの子どもとお父さん(おじいちゃんも可)

参加費 大人1,000円、子ども600円
 (材料費、保険代込)

メール相談

電話で話すのは苦手だけど話を聞いてほしい方などに向けて、メールによる相談をお受けしています。時間や場所を選ばずにご相談いただけます。※「ご利用にあたっての約束」をご確認ください。

対象 北九州市内(在宅・通勤・通学)の方であればどなたでも。匿名(ニックネーム)可



*5月25日現在の情報です。日程等変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

男女平等への長い列 私の履歴書

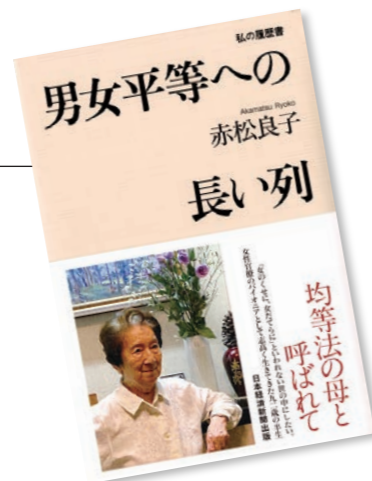
著者は「均等法の母」と呼ばれ、男女平等を一貫して求め続けてきたパイオニアである。おおらかで楽天的で包容力のある人柄がわかるこの「自叙伝」は、みずみずしい文章でつづられており、読みやすい。理不尽な現実を悩む多くの人々にも、ぜひ本書を薦めたい。公私にわたる難局を果敢に受け止め、高い志を抱き続けて努力を惜しまない著者の生き方そのものが、大切なことを教えているからだ。

著者は、職業をもつという幼いころからの夢を抱いて労働省に入り、海外研修で国際的視点を学びながら、不遇の時代は「雌伏のとき」と思い、研鑽に励む。後にチャンスが巡ってきて、国連公使として女性差別撤廃条約[＊]の審議に関わり、均等法を制定し、女性差別撤廃委員会の委員、ウルグアイ大使、文部大臣を経験。そして93歳の現在でも、NGO活動をしながら、男女平等の志を後輩たちに伝え続けている。

メッセージは、本書のタイトルに示されている。著者は、先人たちが切り拓いた「男女平等への長い列」に加わるにより、多くの仕事ができたと。研修先の米国で学んだのは、世代を超えた「友達」の大切さ。長い人生を支えてくれたのも「友人」だった。その通りだと思う。男女平等への歩みは、けっして孤独なものではない。世代を超えた「共同作業」だ。私もこの長い列に加わりたい。本書を読めば、そう願う女性たちがきっと増えるに違いない。

早稲田大学 名誉教授 **浅倉 むつ子**さん

※なお本書では、女子差別撤廃条約・委員会という公定訳が使われている。



- 赤松 良子 著
- 日経BP
- 日本経済新聞出版
- 2022年初版
- 1,700円(税別)

女性差別撤廃委員会

女性差別撤廃条約にもとづき、1982年10月に設置された国連の委員会。締約国の定期報告を審議して「総括所見」を作成し、条約の解釈文書「一般勧告」を策定する。また、選択議定書に基づく「個人通報」を審査して見解を出す。締約国会議で選ばれる23人の専門家から構成され、委員の任期は4年。日本からも1人ずつ委員が選出されており、赤松良子氏はその初代。現在の委員は秋月弘子亜細亜大学教授が務める。

裸で泳ぐ

詩織さんには、一度お会いしたことがある。性暴力根絶を目指すフラワーデモ福岡に、メッセージをいただいた時だ。しばらく真剣な表情で考え、ペンを走らせた彼女の言葉は—

「今日、この世界に生きていてくれて本当にありがとう。」

I'm with you, with love♡」

それは、当事者をそっとハグしてくれるようだった。

本書の出版を知り、前著『Black Box』以降の、回復の物語と、社会を、司法を変えねばと真っ直ぐな使命感で走り続けている彼女の、しなやかな強さの源泉に触れると期待したが、それ以上だった。複数の民事裁判を抱えながら、自分を整え、取材先へ飛び回る、出会いの物語でもあり、幼い日の悪夢も、置き去りになっていた怒りも、深く抱きしめる、自己受容の物語でもあった。

性的同意を知らなかった中学時代、元彼との再会、恋人との別れ、パートナー探しをしながらも、心から望んでいることかと、疑いを手放さない冷静さ…恋愛に関するエピソードからは、私の人生を生きる!という声が、力強く響いてくるようだ。

性別、肩書、過去のどんな経験も、すりと脱ぎ捨て、自分に還る。そのためヒントと、エネルギーチャージの方法を、惜しみなくシェアしてくれているのは、愛のなせるわざだ。彼女の「丁寧に金継ぎされてきたような土台」を彩るすべてを、ぜひ本書で味わってほしい。それは、あなた自身が置き去りにしてきた小さなあなたと、出会わせてもくれるはずだから。

臨床心理士、ムーブ特別相談員 **黒瀬 まり子**さん



- 伊藤 詩織 著
- 岩波書店
- 2022年初版
- 1,600円(税別)

性的同意

明治時代から110年ぶりに見直された改正刑法でも、性的同意年齢は13歳。暴行脅迫要件を満たさねば、つまり性的同意がないだけでは強制性交罪は認められない。今年の刑法改正で、性的同意年齢は16歳へ、罪名は不同意性交罪へ変更の見込みだ。食事や酒を共にしても性的同意ではない。性暴力をなくすには、互いの境界線を尊重し、言葉で同意を得る習慣が不可欠だ。相手に聞き、NOを受け入れる力を、日頃から大切に育みたい。

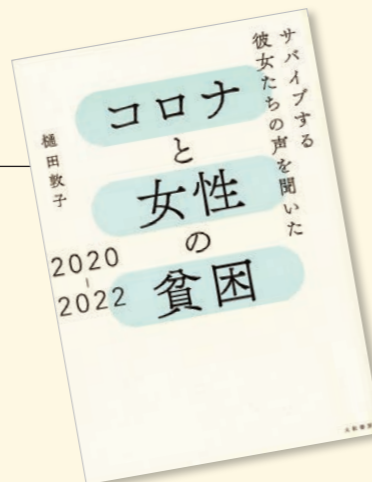
コロナと女性の貧困 2020-2022 サバイブする彼女たちの声を聞いた

本書は、新型コロナウイルスによるパンデミックに重なる2020年から現在までの私たちの社会の生きづらさを浮き彫りにしたポルターージュである。著者の樋田敦子さんは元新聞記者であり、社会の不条理の犠牲となりやすい女性たちのリアルな姿を、共感を持って克明に描写している。

本書に登場するのは「早朝のバス停のベンチで殺害された女性ホームレス」「凄惨な児童虐待事件の加害者となった、自らも虐待を受けてきたシングルマザー」など多様であるが、貧困や虐待、DVなど「誰かの助けを必要とする人の姿」は私たちには見えにくく、渦中にある本人は自分が窮地にあることすら気づきにくい。社会に頼ってはいけないという過剰な自己責任論がはびこる中で、ぎりぎりをとるに超えている人が我慢を強いられている現実もあるだろう。また、「どの相談窓口の、誰に相談するか」によって、生活や人生が変わってしまう現実もある。福祉の相談窓口でありながら、助けを求めると「正論」を振りかざし、生きる希望を奪ってしまう例が本書にも生々しく描かれている。少なくとも本書は、新型コロナとジェンダー問題を通して、私たちの社会は思ったよりも脆弱な基盤の上に立っていることを理解するきっかけになるだろう。

トピックである「女性新法」についても、期待とともに課題も指摘されており、ジェンダー問題に関心のある人や、福祉事業所や行政機関で相談支援業務に従事している人に一読をお勧めしたい。

北九州市障害者基幹相談支援センター 相談支援担当課長・小児慢性特定疾病支援室長 **松本 麻子**さん



- 樋田 敦子 著
- 大和書房
- 2022年初版
- 1,600円(税別)

女性新法

正式名称は「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」であり、女性支援のための新たな根拠法として2022年5月に成立(2024年4月施行)した。困難を抱える女性への支援は売春防止法が根拠法とされてきたが、女性をめぐる課題は生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係の破綻など複雑・多様化していることから、孤独・孤立対策の視点も踏まえ、相談支援機能の充実、民間団体との連携などの施策を盛り込んでいる。

女の子がいる場所は

九州国際大学 現代ビジネス学部 国際社会学科 教授 **大形 里美**さん

資料を読み込んで制作されたという本書には、サウジアラビア、モロッコ、インド、日本、アフガニスタンという文化・宗教の異なる5つの国で、少女が女性ゆえに経験する諸問題が漫画で描かれており、読者はそれらを読むことで主人公の少女の初々しい感受性をもって疑似体験することができる。

サウジアラビアとモロッコについては、スカーフ着用、親が相手を決める結婚、一夫多妻婚の家族の日常、高齢女性から示されるジェンダー規範などに対する少女の戸惑いや困惑、そしてイスラム社会内部における考え方の多様性などが描かれている。インドについては、貧富の格差によって生み出される不条理に対する少女の葛藤と克服のあり方が描かれ、日本については両親の離婚を経験した少女、その母親と祖母の間で交わされる会話から日本の女性たちが置かれた状況が描かれている。そしてアフガニスタンについては、戦争で奪われていた教育の機会を取り戻した少女たちの思いが描かれている。

本作品の前半2編はイスラム文化圏、そして後半は、それ以外の文化圏のジェンダー問題について漫画を通して理解を深



- やまじえびね 著
- KADOKAWA
- 2022年初版
- 740円(税別)

められる作品となっている。漫画では、映画などでは流れていってしまう大切な瞬間がイラストでクローズアップされる。読者は無意識のうちに作品に感情移入し、主人公の立場に立って考えることができるため異文化理解を格段に深化させることができる。たとえ同じ文化圏であっても、国や地域によって社会状況が大きく異なり、個人によっても考え方が大きく異なるため、どの宗教や文化についてもステレオタイプに捉えてはいけないが、本書は異文化におけるジェンダー問題理解の素晴らしいツールと言えるだろう。

男女共同参画週間

6月23日(金)～29日(木)

「男女共同参画週間」のキャッチフレーズは若者が考えました。

令和5年度キャッチフレーズ

無くそう思い込み、守ろう個性
みんなでつくる、みんなの未来。

女性の権利ホットライン

6月28日(水) 10:00～16:00

弁護士がDV、セクハラなど女性への人権侵害に関するさまざまな相談に電話で対応します。

[対象]女性への人権侵害に関する相談であればどなたでも

093-591-9408
093-280-5325

パネル展示

「未来をひらく
あなたに」

6月23日(金)～29日(木)

若い世代に向けてのパネル展示です。
ジェンダーの視点から「今」と「未来」について
考えてみませんか？

■ムーブ 1階 正面玄関横スペース



相談室のご案内

ここと生き方の一般相談

☎ 093-583-3331

火～日曜日 9:30～17:00

《面接》要相談 毎週火曜日

《メール》ムーブのホームページを
ご覧ください。性別による
人権侵害相談

☎ 093-583-3663

火～日曜日 9:30～17:00

男性のための電話相談

☎ 093-280-5325

第1・3土曜日 10:00～12:00

第2・4火曜日 18:00～20:00

女性のための
元気アップ相談

☎ 093-591-9408

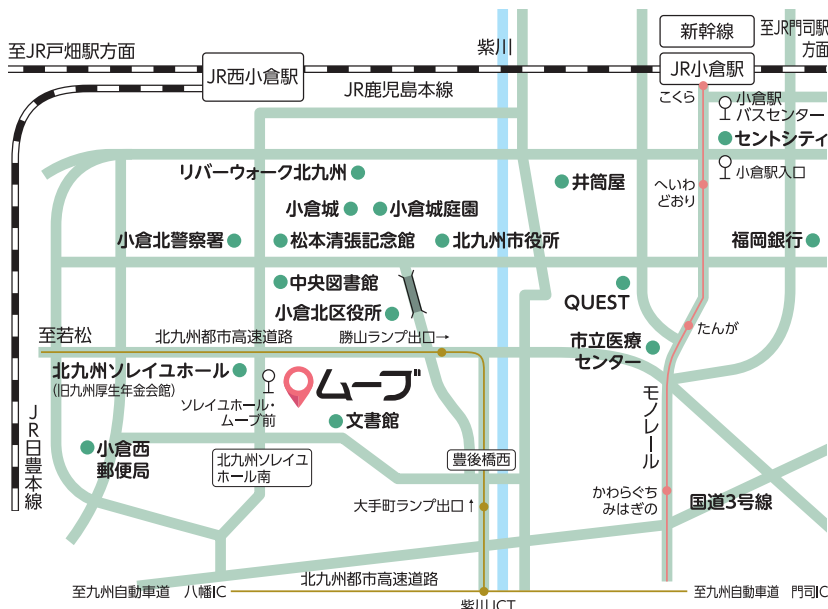
第1・2・4金曜日 10:00～17:00

女性のための無料法律相談

月4回※詳しい日程は、お問い合わせください。

[定員] 各日4人(抽選)

受付は☎ 093-583-5197

北九州市立
男女共同参画センター

ムーブ

指定管理者 (公財)アジア女性交流・研究フォーラム
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL:093-583-3939 FAX:093-583-5107
E-mail: move@move-kitakyu.jp
HP: https://www.kitakyu-move.jp/

- アクセス**
- JR小倉駅から徒歩15分
 - 西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車
【小倉バスセンターから】27 36 45 110 138
【小倉駅入口から】150 170 197
【天神バスセンターから】西鉄高速バス いとうづ号
 - 北九州都市高速
勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分
- 駐車場**
- 地下駐車場 100台収容(車高制限は2.1m)
30分ごとに100円 8:15～22:15(入庫は22:00まで)



Facebook



Instagram



ムーブHP

ムーブのFacebook・Instagramでイベント案内をはじめ、いろいろな情報を発信しています。